

(資料2)

全国消防機関の知的共有財産としての消防研究所の業務について

消防研究所においては、研究成果・知見に基づく消防行政への情報提供と貢献を目的として、全国の消防機関を対象とした以下の業務を平成15年度に実施している。

1 火災原因調査関係

- (1) 社会的に深刻あるいは重大な火災等についての火災原因調査を実施するとともに、消防機関が実施する火災原因調査を支援(平成15年度現地調査状況については別紙1参照)
- (2) 火災原因調査基礎講座の実施(平成15年度は年4回:東京、大阪、名古屋、福岡で2日間の座学)
- (3) 消防学校の火災原因調査関連講義の支援(平成15年度実績:6校)
- (4) 火災原因調査関連データベースシステムによる火災調査統計情報、火災原因照会情報及び火災調査関連文献情報の提供(別紙2参照、消防庁防災情報システムの一部として運用中)
- (5) 消防機関からの要請による鑑識、鑑定業務(平成15年度実績:1件)

2 消防機関が実施している研究・消火活動等へのアドバイス

- (1) 環境に配慮した一般火災用消火薬剤の開発(北九州市消防局)
- (2) 京浜島不燃ごみ処理施設火災における再現実験(東京消防庁)
- (3) 消防ポンプ自動車のポンプ稼動時間と消費燃料についての研究(箕面市消防本部)
- (4) 三重県多度町RDF貯蔵槽火災における消火活動(桑名市消防本部)
- (5) 出光興産(株)北海道製油所における地震後の安全確保(苫小牧市消防本部)

3 消防機関との共同研究

- (1) 水/空気2流体混合噴霧消火システムに関する研究(横浜市消防局)
- (2) 消防用防護服の総合的な性能評価手法に関する研究(東京消防庁)
- (3) 文化財建造物等の防災対策に関する研究(京都市消防局)
- (4) 救急システムに関する研究(横浜市消防局、準備中)

4 全国消防技術者会議の開催

全国の消防関係者を対象に、研究発表や情報交換、研究成果の普及を行うことを目的に、昭和28年以来、毎年度開催(平成15年度の参加者:1050名)

5 消防防災研究講演会の開催

消防研究所における消防防災に関する研究成果を公開の場で発表するとともに、講

演会参加者と討論を行うことによって、将来に向けた研究計画の糧を得ることを目的として、平成 9 年度以来、毎年度開催（平成 15 年度のテーマ：「産業施設における最近の火災事故」、消防機関参加者：315 名）

6 消防研究所の研究活動を公開するための見学者受入

(1) 科学技術週間に消防研究所の一般公開を実施

平成 15 年度の消防機関参加者：267 名（うち、消防本部 114 名、消防大学校学生 153 名）

(2) その他要望に応じて随時見学者受入

平成 15 年度の消防機関見学者：1041 名（うち、消防本部 169 名、消防学校 211 名、消防団 99 名、消防大学校学生 562 名）

7 その他技術的照会等への対応と情報提供

(1) 研究成果及び技術的知見の蓄積を背景に、電話等による技術的照会を随時受付

（照会窓口：研究企画部→案件に応じて研究部及び火災原因調査室が対応）

(2) 要請に応じて研究者を講師、委員等として派遣し、課題解決を支援

(3) 消防研究所報告、消研輯報、ホームページ等のメディアを活用して情報提供

(資料2別紙1)

火災原因調査 現地調査状況(15.4~)

No	発災日	場 所	名 称	概 要	現地調査月日
1	H15. 4.11	鹿児島県 鹿児島市	(有)南国花火 爆発火災	花火工場が爆発し、従業員10人死亡。	4/11-4/13 7/22-7/24
2	H15. 6. 2	兵庫県 神戸市西区	伊川谷火災事故(殉職 事故)	木造2階建て住宅火災で建物が崩落し、消防職員4人が殉職。	6/2-6/4
3	H15.7.28	新潟県	上越新幹線 Maxとき321号 エアコン火災	車両内エアコン周辺から出火	10/23-10/24
4	H15. 8.10	岡山県 赤磐郡瀬戸町	(株)アーテックスズキ 工場火災	3階建てプラスチック工場約12,000m ² が焼損。	8/11-8/13
5	H15. 8.19	三重県 桑名郡多度町	三重県RDF 貯蔵タンク火災	ゴミ固化燃料(RDF)の貯槽が発熱発火、消火中の消防職員2人殉職、他5人負傷。	8/19-8/23 8/20-8/21 8/27-8/28 9/4 10/6
6	H15. 9. 3	愛知県 東海市	新日本製鐵(株) 名古屋製鐵所 COGタンク火災	製鉄所の容量40,000m ³ のガスホルダーが爆発炎上。	9/5
7	H15. 9. 8	栃木県 黒磯市	ブリヂストン(株)タイ ヤ工場火災	タイヤ工場のゴム練り工程棟40,000m ² 、タイヤ16,500本焼損。	9/9-9/11 10/6-10/7 1/27 4/9
8	H15. 9.26	北海道 苫小牧市	出光興産(株)北海道製 油所 タンク火災(原油タン ク)	2003十勝沖地震に伴い、苫小牧の精油所の原油タンクが炎上した。	9/26-9/29 9/30-10/3 10/2-10/22 (対策本部要員として1~3

9	H15. 9.28	北海道 苫小牧市	出光興産(株)北海道製 油所 タンク火災(ナフサタ ンク)	2003十勝沖地震に伴い、損傷を受けていたナフサタ ンクが炎上し、30日まで燃え続けた。	名常駐) 10/27-10/29 11/13-11/15 12/3/12/4 12/16-12/18 1/28-1/29 4/8 委員会
10	H15.11. 5	神奈川県 大和市	大和市イオンショッ ピングセンター爆発	生ごみ処理室において、生ごみ処理機1台焼損すると ともに、消火活動中の消防職員が爆発により11人負 傷した。	11/5 11/6 11/18 3/11
11	H14. 8. 5	千葉県 松戸市	馬淵隆一宅 (マブチモーター社 長宅)	殺人並びに現住建造物等放火被疑事件 (千葉県警からの依頼)	12/12
12	H16.2.19	山形県三川町	山形県消防学校	燃烧実験室で天ぷら油火災の実験中、網入りガラスが 破損、見学中の消防団員 9 名が負傷した。	2 /24-25 3 /30 来所
13	H16. 2 .21	静岡県浜岡町	中部電力(株) 浜岡原子力発電所	発電所 2 号機の停止に伴い 定期点検準備中、水素ガスを大気中に排出時に静電気 により着火したもの。	2 /24-25

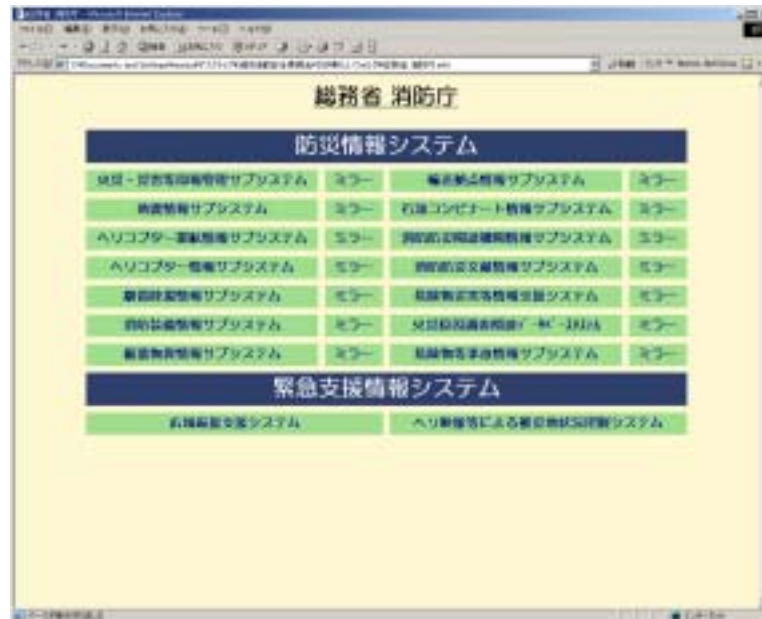
(H16.4.2現在)

(資料2別紙2)

火災原因調査データベースシステム

(総務省消防庁防災情報システムの一部として運用されており、火災原因調査室で収集した情報により更新されています。)

防災情報システムのホームページ



火災原因調査関連データベース内容



「自然発火」 & 「小売店」で検索した結果(抜粋)
(平成7年から現在で283件)

1	北海道札幌市中央区	札幌市消防局	011-215-2100	揚げかす	自然発火する	合成樹脂と成形品	調理室(場)
2	北海道札幌市北区	札幌市消防局	011-215-2100	その他の自然発火しやすい油類	その他	粉塵	飲食店舗部分
3	北海道札幌市東区	札幌市消防局	011-215-2100	揚げかす	自然発火する	合成樹脂と成形品	敷地内
4	北海道札幌市豊平区	札幌市消防局	011-215-2100	揚げかす	自然発火する	その他	調理室(場)
5	北海道旭川市	旭川市消防本部	0166-23-4556	揚げかす	余熱で発火する	ごみ屑	ごみ集積場
				中略			
141	神奈川県鎌倉市	鎌倉市消防本部	0467-25-7550	揚げかす	余熱で発火する	作業台	物品販売店舗部分
142	神奈川県相模原市	相模原市消防本部	0427-51-9111	揚げ玉	自然発火する	袋及び紙製品	調理室(場)
143	神奈川県相模原市	相模原市消防本部	0427-51-9111	取灰	火源が動いて接触する	紙屑	敷地内
144	神奈川県相模原市	相模原市消防本部	0427-51-9111	その他の再燃により出火原因となりやすいものの	消したはずのものが再燃する	その他	敷地内
145	神奈川県厚木市	厚木市消防本部	046-221-2331	消し炭薪	消したはずのものが再燃する	紙屑, わら屑	荷台, 船そう
146	神奈川県寒川町	寒川町消防本部	0467-75-8000	野積みのごみ	放火の疑い	紙屑	敷地内
147	新潟県見附市	見附市消防本部	0258-62-0555	取灰	消したはずのものが再燃する	袋及び紙製品	一般倉庫
148	新潟県五泉市	五泉市消防本部	0250-42-2400	油紙・油布	自然発火する	繊維製品	廊下
149	新潟県水原町	水原郷消防本部	0250-62-2058	揚げかす	自然発火する	ごみ屑	外周部
150	新潟県塩沢町	南魚沼郡広域事務組合魚沼消防本部	0257-82-1211	揚げかす	余熱で発火する	ごみ屑	調理室(場)
151	新潟県川西町	十日町地域消防本部	0257-57-0119	揚げかす	自然発火する	その他	調理室(場)
152	富山県小矢部市	小矢部市消防本部	0766-67-0009	綿・ふとん類	残り火の処置が不十分	カーテン	廊下
153	富山県大沢野町	大沢野町消防本部	0764-68-1212	かいる灰	消したはずのものが再燃する	袋及び紙製品	荷台, 船そう
				以下省略			

火災原因調査に関連書籍など情報も検索可能

関連書籍等情報検索結果

文献区分	タイトル	著者名・発表者	発行所	発行・発表年月日	関連タイトル	備考	詳細
機関誌	日本家庭火災防除時の現象	中内 恒作, 広沢 重雄, 高橋 晋	消防研究所	1950年02月01日	消防研究所報告	第1号	
機関誌	ふすまの燃焼に就いて	阿部 陽平	消防研究所	1950年02月01日	消防研究所報告	第1号	
機関誌	法隆寺電気圧びとん試験結果について	中内 恒作	消防研究所	1950年02月01日	消防研究所報告	第1号	
機関誌	板体燃焼の研究	秋田 一雄	消防研究所	1950年02月01日	消防研究所報告	第1号	
機関誌	木造の燃え盛りに就いて	秋田 一雄	消防研究所	1950年02月01日	消防研究所報告	第1号	
機関誌	メタノールの燃焼速度に就いて	秋田 一雄	消防研究所	1950年02月01日	消防研究所報告	第1号	
機関誌	近代火災における土曜の被害について	今澤 博	消防研究所	1950年06月01日	消防研究所報告	第2号	
機関誌	セルロイドの自然火災に関する研究(第1報)？セルロイド自然火災機構の一端？	秋田 一雄	消防研究所	1950年06月01日	消防研究所報告	第2号	
機関誌	セルロイドの自然火災に関する研究？セルロイドの発火性について？	秋田 一雄, 荒井春之助	消防研究所	1950年11月01日	消防研究所報告	第3号	
機関誌	都市の火出火危険度について	横井 隆男	火災学会	1951年01月01日	日本火災学会誌	1月1日	
機関誌	火災件数の分布型とその季節的変動について	丸山 清久	火災学会	1951年01月01日	日本火災学会誌	1月1日	
機関誌	建物が火災蔓延を遅らせる効果の計算法	中村 貞一	火災学会	1951年01月01日	日本火災学会誌	1月1日	
機関誌	建物の規模と形状による燃焼速度	横井 隆一	火災学会	1951年01月01日	日本火災学会誌	1月1日	
機関誌	都市に於ける気温の正常値及び異常上昇について	大山・重多・三山・薄田	火災学会	1951年01月01日	日本火災学会誌	1月1日	
機関誌	免震性防火塗料について	櫻井・康	火災学会	1951年01月01日	日本火災学会誌	1月1日	

戻る 次頁